

思い起こせば長く編集委員を務めたのだと感慨深い。6年間の編集主幹、そして小生ただ一人発刊から20年、編集委員を務めさせて頂いた。一度も欠席することなく2か月に一度、総計126回の編集会議に出席できたことをうれしく思っている。思い起こすのは、1995年5月27日、最初の編集会議が開催された旧医学書院社屋の小さな部屋の光景である。出月康夫編集主幹、北島政樹副編集主幹を前に4名の編集委員が新たな機関誌の発行に向けて熱心に討議した光景が目当たりに鮮明によみがえる。まず表紙は慶應義塾大学の故大上正裕先生が提案した図柄とお馴染みの赤を基調とし内視鏡外科に関わる機器をイラストにした現在のJSESロゴに編集委員全員一致で決定した。そして当初は、編集委員がその専門分野でテーマを選定し著者を決定する特集を中心に一般投稿も募集する方法で進めることが決定され、第一号は大腸癌をテーマとして小生が案を練ることが決まった。また、創刊号では出月主幹が「新しいテクノロジーを外科医療に導入するためには有用性と安全性の確認、さらに従来のもより優れていること、医師が技術をマスターしていること、そして経済性の4条件が満たされることが前提である」と述べられている。そして北島副編集主幹は編集後記で故陣内伝之助先生から頂いた手紙を引用して「小説でも映画でもよいものは10年経っても残っている。むしろ20~30年経ったものを読めば必然的にフィルターで選抜された良いものだけを読むことになる」と書かれている。各巻興味深いテーマのもと一流の執筆者による最新の情報提供が会員の知識技術の習得に大きく役立ったと自負している。

小職が担当した2008年第21回総会(第11回世界内視鏡外科学会合同開催)で参加者が3,400名を超え、インターネットの発達で最新の学術情報の取得が容易になったこともあり、2010年第15巻より本来の学会機関誌の目的である会員からの一般投稿のみへと舵を切った。おかげで一般投稿も多く採用率も30%と比較的良質の論文を掲載できている。学会参加者も2012年松本純夫会長の際4,000名を、さらに2014年山下裕一会長のもとで5,000名を超え、そして今回の2015年、松田公志会長が素晴らしい企画とプログラムで過去最高の3,286の演題と6,000名を超える参加者を迎えられた。益々、学会が発展していることは大変喜ばしい。今回で小職が理事長退任ということで理事長講演を依頼され「25年の歴史を振り返り将来に期待するもの」と題して講演させていただいた。その最後に内視鏡外科の父であるP. Mouret博士の生涯最後の講演の司会を担当したのもとして、彼の遺言ともいえる言葉を紹介した。「My dream is deeply rooted in the surgical dream. My dream is that "fundamentalism" disappears from surgical mindings」

この先駆者の思いを将来に伝えるためにも、渡邊昌彦新理事長が今後編集主幹として本誌に新風を吹かせてもらえるものと期待しつつ、皆様のこれまでのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。最後の編集後記とします。

(北野正剛)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第21巻 第1号) 2016年1月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1部) 定価：本体2,800円＋税 ＊会員には毎号送付されます。

2016年 年間購読料：冊子版16,380円＋税、電子版/個人16,380円＋税、電子版/共有18,840円＋税、冊子＋電子版/個人19,380円＋税、冊子＋電子版/共有21,840円＋税(配送料：医学書院負担) ＊会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会(代表：渡邊昌彦)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル

日本コンベンションサービス株式会社内

☎03-3503-5917 Fax 03-3502-1888 E-mail: info-jses@convention.co.jp(担当：野上)

http://www.jses.or.jp

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2016, Printed in Japan

発売：(株)医学書院(代表：金原 優)(本誌担当：水野、安部) http://www.igaku-shoin.co.jp/

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23(振替口座00170-9-96693番)

本誌編集室直通 ☎03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802/E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

・本誌に掲載する著作物の複製権、上映権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は日本内視鏡外科学会が保有します。

・JCOPY (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(社) 出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●原著

当院における絞扼性イレウスに対する腹腔鏡手術の検討加藤久仁之・他 能代厚生医療センター外科
腹腔鏡補助下幽門下動静脈温存幽門保存胃切除術の有用性野村 尚・他 山形県立中央病院外科

●症例報告

腹腔鏡下虫垂切除術が有用であった虫垂出血の 1 例—報告 34 例の

集計平井隆仁・他 昭和大学消化器・一般外科学教室
単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した門脈海綿状血管変形を伴う

胆石症の 1 例塩入利一・他 公立学校共済組合関東中央病院外科
食道裂孔ヘルニアを伴う胃 GIST に対して腹臥位胸腔鏡下胃部分切除を施行した

1 例内藤哲也・他 長岡赤十字病院外科
腹腔鏡下脾鉤部部分切除術に際し脾液瘻予防目的に脾空腸吻合術を

行った 1 例中山宏道・他 九州大学大学院臨床・腫瘍外科
腹腔鏡下に子宮合併 S 状結腸切除を施行した結腸憩室炎に伴う

結腸子宮瘻の 1 例大野史輝・他 愛媛県立中央病院消化器外科

他数編の掲載を予定。但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。